

半期開示情報

当会の平成 22 年度上半期（平成 22 年 4 月 1 日～9 月 30 日）における経営状況（単体）についてお知らせします。

1. 主要勘定の状況
2. 自己資本の充実の状況
3. 金融再生法開示債権の状況
4. 有価証券等時価情報
 - (1) 有価証券
 - (2) 金銭の信託
5. 地域貢献情報
 - (1) 地域社会に対する基本的な考え方
 - (2) 地域からの資金調達の状況
 - (3) 地域への資金供給の状況
 - (4) 地域密着型金融への取り組み
 - (5) 文化的・社会的貢献の状況

J A 広 島 信 連

平成 22 年 9 月

◎ 当資料の金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

単位未満の金額において残高のあるものは「0」、残高のないものは「-」で表示しています。

1. 主要勘定の状況

単位：百万円

	21年3月末	22年3月末	22年9月末
貯金	1,671,195	1,681,373	1,729,848
貸出金	79,890	76,225	74,648
預け金	1,078,965	998,321	1,058,977
有価証券	550,637	653,590	654,309

注) 貯金には譲渡性貯金を含んでいます。

2. 自己資本の充実の状況

単位：百万円

	21年3月末	22年3月末	22年9月末
基本的項目 A	116,512	117,764	119,219
補完的項目 B	12,540	12,569	12,631
控除項目 C	—	—	—
自己資本額 D=A+B-C	129,053	130,333	131,850
リスク・アセット等 E	407,313	411,067	420,985
自己資本比率 D/E (国内基準：単体)	31.68 %	31.70 %	31.31 %

注) 金融庁・農林水産省告示第2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に基づき算出しています。

3. 金融再生法開示債権の状況

単位：百万円

区 分	22年3月末	22年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	72	70	△2
危険債権	2,290	2,107	△183
要管理債権	—	—	—
小 計	2,363	2,177	△185
正常債権	76,751	75,252	△1,499
合 計	79,115	77,430	△1,684

注) 金融再生法開示債権は、貸出金及び貸出金に準ずる債権（未収利息、仮払金、債務保証見返）の各勘定について、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（金融再生法）」に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。

- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- ②「危険債権」とは、経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により、元本の回収及び利息の受取りが出来ない可能性の高い債権です。
- ③「要管理債権」とは、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。
- ④「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記①から③に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

4. 有価証券等時価情報

(1) 有価証券

単位：百万円

保有区分	22年3月末			22年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	102,004	105,115	3,111	100,520	103,645	3,124
そ の 他	564,102	551,586	△12,515	553,994	553,788	△205
合 計	666,106	656,702	△9,404	654,514	657,433	2,919

(2) 金銭の信託

単位：百万円

保有区分	22年3月末			22年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	5,008	5,009	0
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—
合 計	—	—	—	5,008	5,009	0

5. 地域貢献情報

(1) 地域社会に対する基本的な考え方

当会は、JAをはじめ関係団体が会員となり、ともに助け合い、ともに発展していくことを理念とした、いわば相互扶助型の農業専門金融機関です。同時に、広島県を事業区域とし、地域経済・地域社会の発展に貢献することを使命とする地域金融機関でもあります。「JAバンクを地域の皆さまに選ばれる存在とすること」というビジョンのもと、理想的な地域との関わり方、望ましい地域貢献のあり方について、JAバンクが一体となって常に考えていきます。

当会の資産は、その大半が県内JAからお預かりした貯金で構成されています。そして、JAの貯金は、JAが農家組合員や地域の皆さまからお預かりしたものです。当会では、このかけがえのない財産を安全・確実にお守りすると同時に、これを原資とし、資金を必要とする農家組合員や農業関連団体、地域の皆さま、地元企業、各種団体等へご融資しています。

また、こういった本来業務による金融機能のご提供だけでなく、教育活動や文化活動、福祉活動などを通じての地域の活性化についても、JAグループとして、あるいはJAバンクとして取り組んでいるところです。

(2) 地域からの資金調達の状況

単位：百万円

区 分	22年3月末	22年9月末	増 減
会 員	1,675,953	1,724,130	48,177
う ち J A	1,652,281	1,699,581	47,300
そ の 他 事 業 者	5,419	5,717	298
合 計	1,681,373	1,729,848	48,475

注) 譲渡性貯金を含んでいます。

平成22年6月1日より12月30日まで、県内JAで県内統一企画の懸賞品付定期貯金『当たってええJA^{じゃ}ん』の取り扱いを行っています。

(3) 地域への資金供給の状況

単位：百万円

区 分	22年3月末	22年9月末	増 減
会 員	12,560	10,487	△2,073
地 方 公 共 団 体 等	600	600	—
そ の 他 事 業 者	63,065	63,561	495
合 計	76,225	74,648	△1,577

上記の他に、日本政策金融公庫などの受託金融機関として、農業・住宅・教育といった制度資金も取り扱いしており、平成22年9月末の残高は425億円となっています。

(4) 地域密着型金融への取り組み

当会は、地域に貢献する地域密着型金融として、また、農業のメインバンクとして、多様な担い手のニーズに対応するとともに、農業金融機能の強化を図っています。

農業金融機能の強化に向けた取り組みとしては、JAの担い手金融リーダーを通じて、担い手金融リーダー会議の開催などにより、担い手金融にかかる情報提供や相談対応を行っています。また、JAの担い手担当者に同行し、農業法人・大規模農家等を訪問し、経営状況の聞き取りや農業資金活用のための商品説明を行うなど、JAと一体となった農業者支援に取り組んでいます。

平成22年4月より当会に農業金融専任担当者を設置し、地域農業の担い手との関係強化・深耕を図るため、対象となるメイン強化先の選定や同行訪問、活動把握、会議研修の実施についてJAならびに各連合会担当者との協議を進めています。

上期は、当会職員が講師となり、JAの担い手金融リーダーや農業融資担当者を対象に、農業融資担当者研修を開催しました。

(5) 文化的・社会的貢献の状況

当会では『こども囲碁フェスタ広島』を通じ、親子の交流のひとときを提供するとともに、子供たちの知恵と創造力を育てるお手伝いをしています。このイベントは、JAバンク広島が特別協賛する形で行っており、今年で第8回となる大会を7月3日に開催しました。(約1,100名の子供達が参加、総入場者数約2,400名。)